

川口市の上下水道事業



1-1 川口市水道事業のあゆみ

昭和25年 3月 創設事業認可（戦後第一号）

昭和27年 4月 給水開始

昭和33年 8月 鳩ヶ谷町給水開始

平成12年度まで、7期にわたる拡張事業

平成23年10月 川口市と鳩ヶ谷市が合併し、水道事業を統合

平成31年 4月 川口市水道局・下水道部が組織統合

令和 4年 4月 給水開始から70周年



上青木第1号井

1-2 事業の概況(令和6年度末現在)

給水人口 607,940人 (行政人口 607,943人)

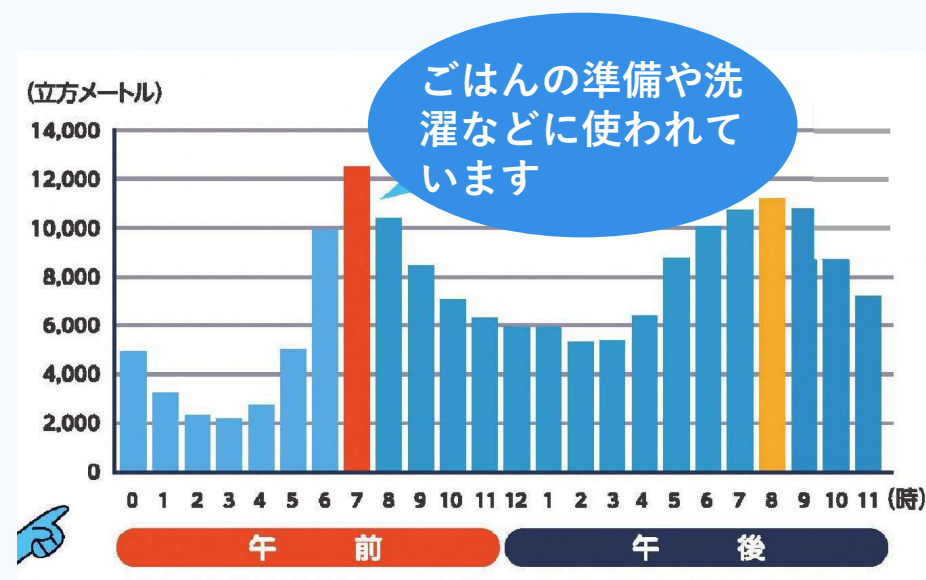
給水世帯 308,605世帯 (行政世帯 308,606世帯)

普及率は99.99% 市内のほぼ全域

年間総配水量 62,728,225m³

一日平均配水量 171,858m³

1人1日平均使用量 253.0ℓ



1-3 川口の水源

川口市の水道水

県水：地下水 = **9 : 1**



埼玉県営水道用水（県水）

- ・利根川水系と荒川水系の河川表流水
- ・新三郷浄水場（三郷市）と大久保浄水場（さいたま市）で浄水処理され、川口市に送られている

自己水源（地下水）

- ・市内の浄水場にある38本の深井戸（深さ約200m）から取水
- ・浄水処理（沈でん・消毒・ろ過）をして配水池へ

令和6年度実績

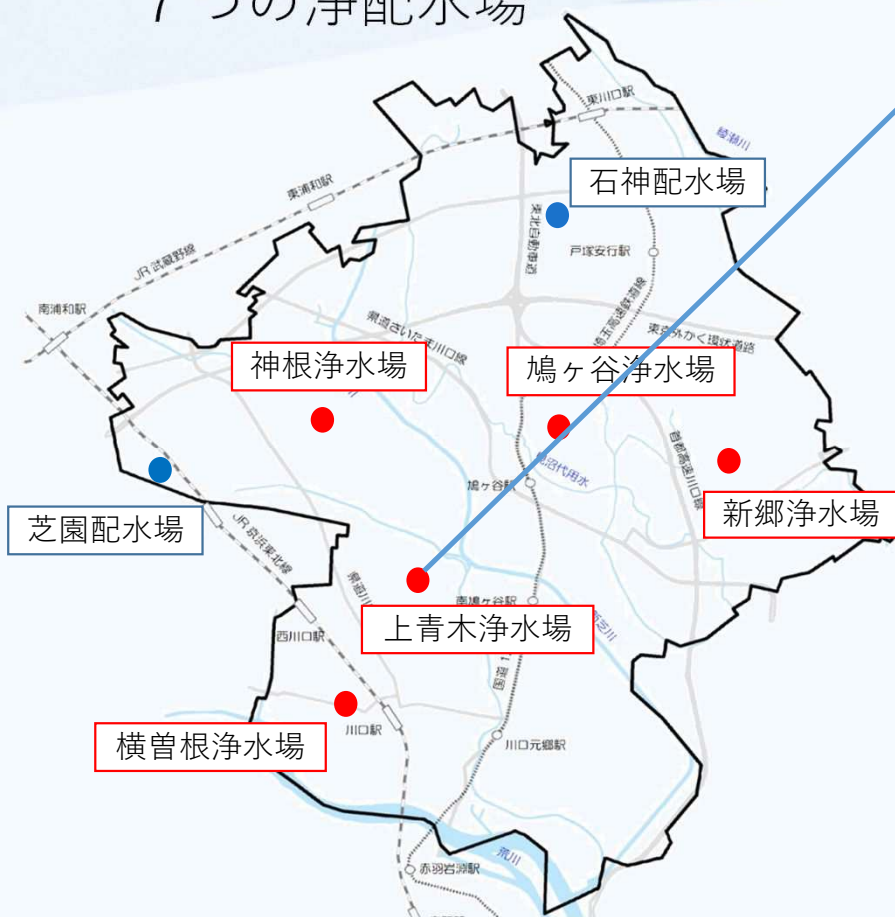
県水受水量 (割合)	55,276,880m ³ (88.12%)
地下水取水量 (割合)	7,451,345m ³ (11.82%)
県水購入単価	61.78円 ※令和8年度からは 74.74円
県水受水費	3,415,019,856円

※金額は税抜

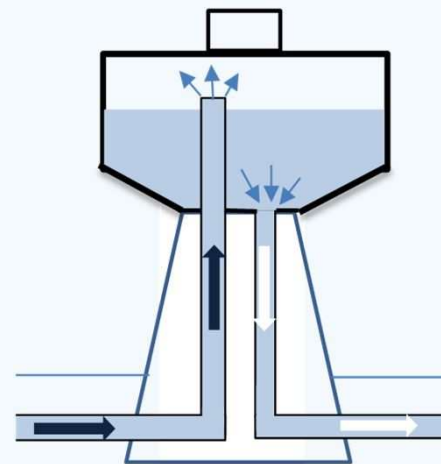
新三郷浄水場：大久保浄水場
= **9 : 1**

1-4 水道施設

7つの浄配水場



上青木浄水場配水塔



新郷浄水場配水塔



石神浄水場配水塔

管路延長（導水管 + 送水管 + 配水管） **約1,498km**

1－5 老朽化対策・地震対策(令和6年度末の状況)

水道施設の耐震化率

	川口市	全国平均	中核市平均	県内平均
基幹管路	85.8%	29.8%	—	36.4%
管路全体	28.7%	20.3%※	21.9%※	27.8%※
浄水施設	48.9%	46.7%	42.9%	72.0%
配水池	76.6%	65.9%	71.2%	76.8%

※管路全体の全国、中核市、県内は令和5年度の数値

管路更新率		
川口市	全国平均	類似団体平均
0.98%	0.59%	0.69%

※管路更新率：年間に更新された距離／管路全体の距離

※類似団体：給水人口30万人以上の末端給水事業者

1-6 漏水対策

漏水発生割合

配水管：給水管 = **1%：99%**

給水管の材料であるポリエチレン管の老朽化によるひび割れなどが主な原因



- ・老朽化した配水管の更新工事
- ・給水管のステンレス管への切替工事
- ・私道内老朽給水管の布設替え
- ・漏水多発地区の漏水調査委託
- ・上下水道局職員による漏水パトロールの実施

漏水件数

平成24年度

4,373件

約40%減

令和6年度

2,581件

有収率

平成24年度

89.74%

令和6年度

89.50%

※配水管：配水場から各家庭に水を運ぶための管
(本市では口径75mm～1,800mm)
給水管：配水管から各家庭に水道水を引き込むための管
(通常20mm程度)

2-1 川口市下水道事業のあゆみ

昭和15年 2月 下水道事業に着手

昭和34年 8月 領家下水処理場において下水処理開始

昭和46年 旧鳩ヶ谷市で下水道事業に着手

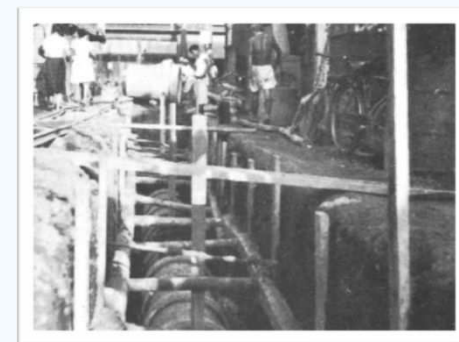
昭和49年 8月 埼玉県荒川左岸南部流域下水道へ
汚水を一部流入開始

平成元年 4月 埼玉県の中川流域下水道へ汚水を一部流入開始

平成15年 3月 領家下水処理場を廃止
→すべての汚水を流域下水道の終末処理場で処理

平成23年10月 川口市と鳩ヶ谷市が合併し下水道事業を統合

平成31年 4月 川口市水道局・下水道部が組織統合



2-2 事業の概況（令和6年度末現在）

人 口	
行政区域内人口	607,943人
処理区域内人口	541,907人
普及率（人口）	89.14%
水洗化人口	511,358人
水洗化率（人口）	94.36%

世 帯	
行政区域内世帯	308,606世帯
処理区域内世帯	277,678世帯
普及率（世帯）	89.98%
水洗化世帯	262,683世帯
水洗化率（世帯）	94.60%

年間総排水量 52,522,658m³ 1日平均排水量 143,898m³

年間有収水量 50,893,425m³

有収率 96.90%

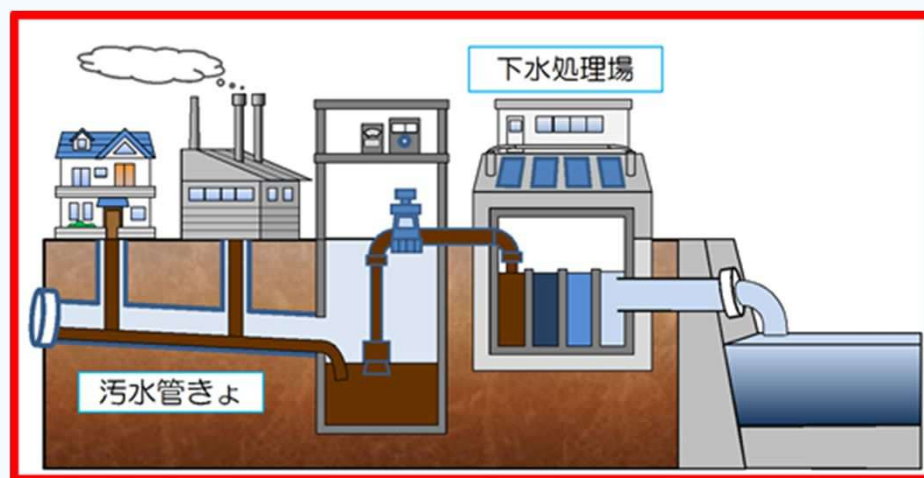
2-3 下水道の役割

①汚水の処理

汚水を処理し、綺麗にして川へ流す

生活環境の改善

河川などの水質保全

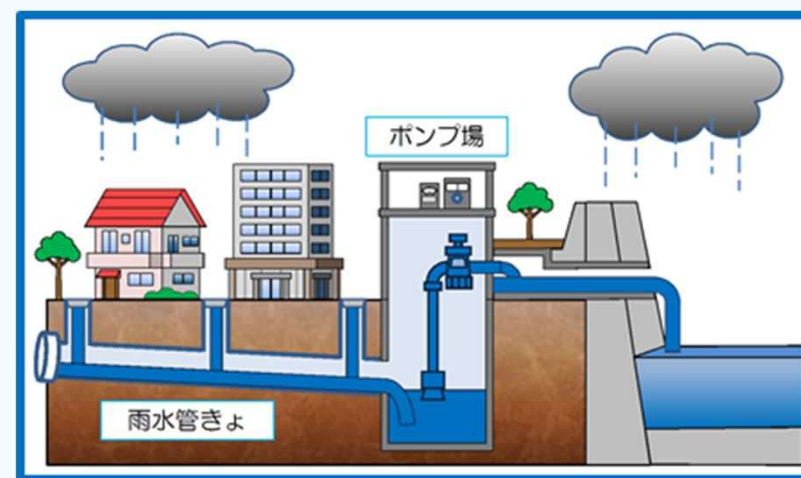


費用は原則**下水道使用料**で負担

②雨水の排水

市街地の雨をすみやかに集め排水する

浸水害の防止・軽減



費用は**全額公費(市税等)**で負担

2-4 流域下水道

流域下水道の概要（令和6年度末現在）

流域名	荒川左岸南部 流域下水道	中川流域下水道
終末処理場	荒川水循環センター（戸田市）	中川水循環センター（三郷市）
関係都市	川口市、さいたま市、上尾市、戸田市、蕨市 5市	川口市、さいたま市、八潮市、草加市、越谷市、春日部市ほか 11市4町
処理水量	41,830,195m ³	10,675,291m ³
処理単価	~R6:36円/m ³ R7:37円/m ³ R8:40円/m ³ R9~:41円/m ³	~R6:40円/m ³ R7~:43円/m ³
負担金	1,505,887,020円	427,011,640円

②本市における処理区域



2-5 ポンプ場施設

下水道管は、傾斜をつけて設置しており、汚水や雨水を自然流下させています。
この流れを助けるのがポンプ場施設です。

①雨水排水ポンプ施設

…土地の低い地域で、自然に雨水を排水できない時に、川などへ排水するための施設

②汚水中継ポンプ施設

…処理場まで距離がある場合や地形の関係で下水道管が深く埋められている場合に、
途中でくみ上げ、再び下流に向かって流すための施設

ポンプ場	
雨水排水	9箇所
汚水中継	8箇所
雨水排水・汚水中継	4箇所
計	21箇所

地下ポンプ室等	
雨水排水	18箇所
汚水中継	45箇所
雨水排水・汚水中継	1箇所
計	64箇所



2-6 老朽化対策

①布設替工事

既設管の状態が非常に悪い場合は、既設管を撤去し新たに耐震性能を有した管を布設する。

施工前



施工後



②更生工事

亀裂等が比較的少なく、規定の排水勾配も確保できている場合は、既設管の内面を特殊な樹脂によりコーティング、地震による管のずれを防止する。

施工前



施工後



2-7 地震対策

川口市下水道総合地震対策計画

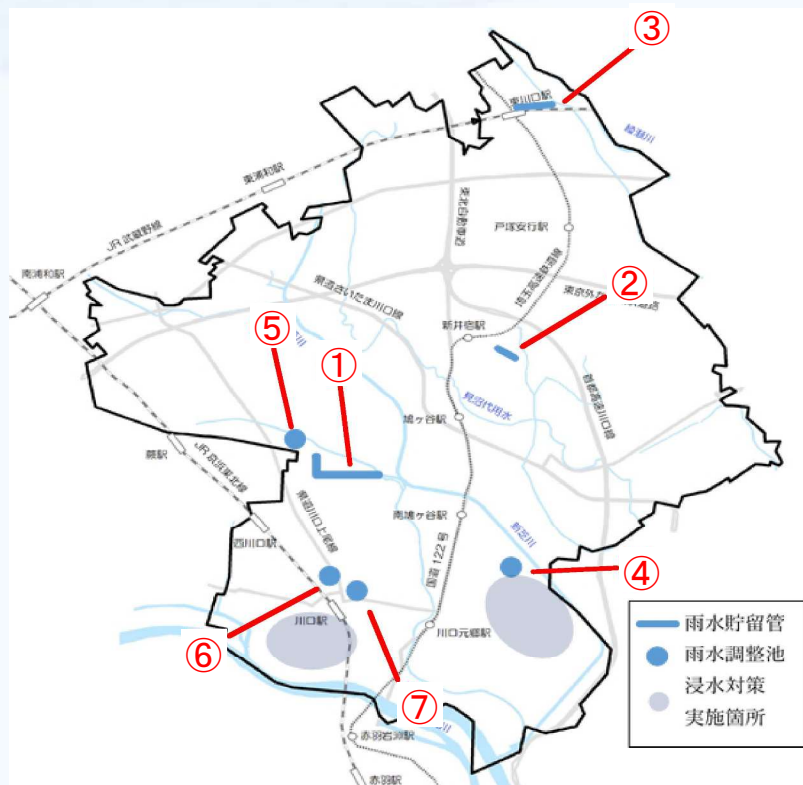
重要な下水道施設の耐震化を図る「**防災**」と、被災を想定して被害の最小化を図る「**減災**」を併せた地震対策を実施。

- 防災**
- ・ 重要な幹線、軌道及び緊急輸送道路下の管路施設の耐震化
 - ・ 一次及び二次緊急輸送道路下のマンホール浮上防止
 - ・ ポンプ場の耐震化

- 減災**
- ・ マンホールトイレの整備拡充

耐震化率	令和6年度末	令和10年度 目標値
重要な幹線等	55.10%	57%
ポンプ場施設	47.6%	71%
マンホール浮上防止対策率	63.76%	66%

2-8 浸水対策



雨水貯留管

施設名称	供用開始	貯留量 (m³)	設置箇所	
① 南部第4処理分区雨水貯留管	H2.8	8,500	上青木	青木公園北側～堅川
② 桜町雨水貯留管	H27.3	3,600	桜町	鳩ヶ谷公園住宅北側
③ 東川口雨水貯留管	R5.3	7,100	東川口	佐藤第2公園～けやき通り

雨水調整池

施設名称	供用開始	貯留量 (m³)	設置箇所	
④ 二軒在家公園雨水調整池	H元.4	2,500	朝日	朝日環境センター南側
⑤ 南部第4処理分区雨水調整池	H3.3	3,500	南前川	南前川グラウンド内
⑥ 並木元町雨水調整池	H29.7	5,800	並木元町	アリオ前
⑦ 幸町小学校雨水調整池	R4.2	400	幸町	幸町小北側